



舞鶴イメージソング完成記念 特別対談

前ページからの続き

鶴」と「シカゴプードル」の懸け橋になったと思いますし、そこにまた人が集まってくれる。そこでまた人が感動してくれる。そういうエネルギーはすごいと思っている。僕は長くこの歌を歌っていいことと思います。これもひとえに、そういうきっかけを与えてくれた舞鶴のみなさんのお陰だと感謝しています。

夢・努力・出会い

市長 私自信、人間というのは頑張っているときに、ある特定の出会いやチャンスが訪れることがあると思います。そのチャンスをつかめるかどうか、その時の時代の流れと、自分がどこまで頑張ってきたのか、頑張る者しかチャンスはつかめないと思っています。私自身も、人生の中で何度かあの人に会ったから伸びたという経験があるんですが、そういった経験はありませんか？

花沢さん 今のシカゴプードルを音楽に導いてくれたレコード会社の人で、シカゴプードルの父みたいな人がいるんですが、その人と出会ったのが一つの大きなきっかけでしたね。

市長 頑張る人というのは、目標を定めておられると思います。

花沢さんは、5年先、10年先のために今年は何をしよう、来年は何をしようと思っておられますか？

花沢さん 今は、ホールのライブだと大体千人規模ですが、今は3千人規模でとか。そういう気持ちはすごくあります。3千人集めるためには、頑張らないといけないし、そのためにはたくさん曲も作らないといけないという高い目標が必要です。例えば3千人の次は5千人、1万人という目標をもって。そのためには何をすればいいか。多分がむしゃらにライブをして、がむしゃらに曲を書かないと多分無理ですし、いろんな人にも出会わないと、という思いはす

ごくありますね。

市長 長期のビジョンは何か持っておられますか。

花沢さん もっとシカゴプードルを全国区にしていきたいですね。この歌は、この声はシカゴプードルの花沢だなんて言ってもらえるように早くになりたいですね。

市長 私の息子と同じくらい歳の、本当に元気で、ガッツのある目標をもった花沢さんから元気をいただきました。ぜひ引き続き頑張ってくださいと思います。今日はありがとうございました。

My hometown 舞鶴 - このタカラモノを未来へ -

作詞：杉岡 秀紀 作曲：花沢 耕太
編曲 & 演奏：Chicago Poodle

呼吸する赤れんが 潮風が僕を海へといざなう
異国へと続く碧（あお）の向こうへ
ふと時の流れを重ねてみる

思えばいつも 心のそばに
岸壁（がんべき）の故郷（ふるさと）があった

● ありがとう 今伝えたい
僕らが生まれたこの舞鶴（まち）で
Let's sing a song in my hometown
東へ西へ このタカラモノを未来へ

静かに眠る城の跡 満開の桜よ 満天の友よ
ツツモノたちの夢の跡
そっと時の流れが重なりゆく

舞い降りた鶴は 君からのメッセージ
僕も飛べる気がしてきたんだ

○ ありがとう 今伝えたい
みんなが育ったこの舞鶴（まち）で
Let's sing a song in my hometown
南へ北へ このタカラモノを未来へ

どこまでも続く 由良川（かわ）の流れのように
大海原へ両手広げて 漕ぎだそう

● repeat
○ repeat

僕から君へ このタカラモノを未来へ

lalala ありがとう lalala 今伝えたい
lalala 君へ lalalala
lalala このタカラモノを lalala 未来へ
lalala lalalala...

イメージソングの試聴・ダウンロードは市ホームページから。また、右のコードからもアクセスできます。（無料。ただし通信料は別途）▶



Chicago Poodle プロフィール

ボーカル&ピアノ… 花沢耕太
ドラム… 山口教仁
ベース… 辻本健司



2000年 同志社大学内で結成
2003年 第1回京都学生祭典「全国学生音楽コンテスト」でグランプリ
2009年 メジャーデビュー
2013年 3枚目のアルバム「3.0」をリリース
2014年2月5日 7枚目のシングル「シナリオのないライフ」をリリース

